

産地活性化総合対策事業の茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業（地域の生産体制強化・需要創出事業）に関する事業評価

都道府 県名	事業実施主 体	対象 作物	事業費 (うち国費) (千円)	成果目標の具体的な 内容	成果目標の達成状況						事業内容 具体的な 取組内容	地方農政局長の意見
					基準年 平成29年	1年目 平成30年	2年目 令和元年	目標年(実 績) 令和2年	目標値	達成率 (%)		
東京都	日本茶輸出 促進協議会	茶	13,606  (13,606)	相手国の MRL 基準を クリアする茶園面積 又は出荷量の、全事 業実施面積又は事業 対象地区における総 出荷量に占める割合 を直近値より5ポイ ント以上増加	90%	98%	83%	73%	100%	-170	(1) 輸出の拡大に向 けた栽培体系の 検討と残留農薬 検査による課題 の検討  (2) 手軽に茶を味わ える新商品の開 発	成分分析の結果、当該茶園外由 来と思われる化学成分が検出 され、輸出先国の MRL 基準をク リアできないほ場が生じた。今 後目標を達成するために周囲 からの農薬飛散等を防ぐため の方策を検討する改善計画書 の提出を求め、引き続き目標達 成に向けて努力するよう、指導 を行うこととする。
				開発した新商品を1 以上販売開始する	—	0	0	0	2	0		
静岡県	大井川農業 協同組合	茶	54,985  (23,042)	直近3年の平均値に 比べて荒茶1kg 当た り燃油等使用量を 10%以上削減	平成27 ~29年 0.963L/kg	0.89 L/kg	0.90 L/kg	0.99 L/kg	0.865 L/kg	-27.6	省エネ型製茶機械（蒸 機、熱交換機、ボイラ ー）の導入	改善計画書の提出を求め、引き 続き目標達成に向け努力する よう指導を行うこととする。

都道府県名	事業実施主体	対象作物	事業費 (うち国費) (千円)	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況						事業内容 〔具体的な 取組内容〕	地方農政局長の意見
					基準年 平成29年	1年目 平成30年	2年目 令和元年	目標年(実績) 令和2年	目標値	達成率 (%)		
静岡県	ハイナン農業協同組合	茶	10,452 (4,424)	10a 当たり労働時間を直近値の2%以上低減	平成25年 60分/10a	55.0 分/10a	55.3 分/10a	55.1 分/10a	55.8 分/10a	116.7	(1) 乗用型防除機の導入による労働時間の低減	成果目標は達成された。
				生産効率を直近値の5%以上向上	1.46kg/h	1.612kg/h	1.612kg/h	1.82kg/h	1.6kg/h	257.1	(2) ドラム式萎凋機の導入による発酵茶製造工程の効率化	
静岡県	するが有機農場協同組合	茶	20,953 (20,953)	開発商品1以上の販売を開始する。	—	0	0	2	2	100	(1) 新商品開発を行い、新たな商品のネット等での販売開始	成果目標は達成された。
				新たな販路を1以上拡大する	—	0	0	3	3	100	(2) 包装資材の選択を行い、茶生葉の販路開拓を実施	
群馬県	有限会社松井農産	こんにゃく	2,592 (2,315)	受益地区における10a当たりの労働時間を5%以上削減	97時間 /10a	96.5時間 /10a	94時間 /10a	91.6時間 /10a	92時間 /10a	100.4	こんにゃくトラクター用拾い上げ機の改良	成果目標は達成された。
				受益地区における地域特産作物の栽培面積を5%以上増加	1,500a	1550a	1550a	1,600a	1,600a	100		

都道府 県名	事業実施主 体	対象 作物	事業費 (うち国費) (千円)	成果目標の具体的な 内容	成果目標の達成状況						事業内容 〔 具体的な 取組内容 〕	地方農政局長の意見
					基準年 平成 29 年	1 年目 平成 30 年	2 年目 令和元年	目標年(実 績) 令和 2 年	目標値	達成率 (%)		
群馬県 長野県	遺伝子組み 換えシルク 推進協議会	蚕糸	37,726  (37,726)	実施地区において、 蚕の飼育数量を 5%以 上増加（遺伝子組換 えカイコの飼養数）	12 万頭  (6 箱)	45 万頭  (22.5 箱)	24 万頭  (12 箱)	0 頭  (0 箱)	60 万頭  (30 箱)	-25	(1) 栽培実証ほの設置  (2) 関連設備・農業機 械の開発改良	コロナ禍における購買需要も 見込めない状況のため、協議 会における組換えカイコの飼 育と参加企業での製品開発が 進まず、遺伝子組換え繭の生 産は見送られてしまった。生 産段階による飼育数を確保す るとともに、企業による新商 品開発及び需要創出に取り組 む改善計画書の提出を求め、 引き続き目標達成に向け努力 するよう指導を行う。
				実施地区において、 繭の生産量を 5%以上 増（遺伝子組換えカ イコ由来の繭の生産 量）	176 kg	767kg	412kg	0 トン	1 トン	-21.4		